

Sequence

## 01 ガバナーメッセージ

## 親愛なる地区内クラブ会長の皆さまへ

## CONTENTS

ガバナーメッセージ

Sequence  
01クラブ紹介  
[田沼RC][佐野RC]Sequence  
02IM報告  
第1G、2G、4G、5GSequence  
03フレッシュロータリアン・  
オリエンテーションSequence  
04新入会員/物故会員/  
お知らせSequence  
05

コーディネーターニュース

Sequence  
06

2026年4月会員数報告

Sequence  
07ガバナー月信  
編集委員長謝辞Sequence  
08

一年間、本当にありがとうございました。

私はこの一年、地区内の多くのクラブを訪問し、改めて確信しました。

ロータリーを動かしているのは「制度」でも「組織」でもありません。

一人ひとりの“熱意”です。

忙しい中でも例会に集まり、地域のために汗を流し、仲間のために力を尽くす。

その姿こそが、ロータリーの力です。

クラブ会長の皆様。

本当にお疲れさまでした。

時には悩み、時には孤独を感じながらも、クラブの先頭に立ち続けてくださいました。

その背中があったからこそ、会員の皆様が前を向き、クラブが動き続けることができました。

そして会員の皆様。

皆様の一步一步が、地域を変え、人を励まし、未来をつくっています。

私はこの一年で、何度も「ロータリーってすごいな」と感じました。

それは大きな事業だけではありません。

誰かへの思いやり、仲間への声掛け、小さな奉仕の積み重ねに、ロータリーの真価を見たからです。

どうかこれからも、誇りを持ってください。

私たちは、地域に希望を届けているのです。

一年間のご支援、ご協力、そして友情に、心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

国際ロータリー第2550地区

ガバナー 二十二 修 (宇都宮北ロータリークラブ)

R.I.D 2550 tochigi  
Facebook QR

Sequence  
02 クラブ紹介

## [田沼ロータリークラブ]

田沼ロータリークラブは現在43名の会員で活動しております。

当クラブは昭和39年1月に発足し、6月に29名の会員で創立しました。今年の5月で例会は3000回を迎えます。主な活動は地域貢献活動、教育支援、社会奉仕活動です。

地域貢献活動は11月に佐野市で実施される「どまんなかフェスタ」での福引大会です。KONOIKEグリーンフィールドを会場としブースを設け、会員の協力による豪華景品を出品します。フェスタには毎年約20,000人が来場しますが、福引きは年齢を問わず楽しめるため、喜ばれております。次にスポーツ支援として、小学生の田沼ロータリークラブ杯スポーツ少年団軟式野球交流大会佐野市予選会を主催し、中学校の野球大会も後援を行っています。

教育支援は今年財団の補助を受け、田沼小学校に防犯カメラ一式を贈呈しました。学校の安全・安心に役立てたことと思います。

社会奉仕活動としては、10月ポリオ撲滅運動の一環として募金活動を行います。道の駅どまんなかたぬまで、佐野地区のロータリークラブと一緒にいきます。佐野日本大学高等学校ローターアクトクラブの協力もあり、多くの募金をいただきました。

会員相互の親睦にも取り組んでいます。様々な趣向をこらし家族旅行を実施します。葛生ロータリークラブとは定期戦でゴルフコンペを行っています。また有志の会員による温泉旅行などがあり、会員それぞれが楽しんでおります。

これからも地域に貢献し、必要とされるクラブとなるよう活動していきたいと思っております。



どまんなかフェスタ



野球大会



ゴルフコンペ

田沼ロータリークラブ

2025-26年度会長 影山 幹男

幹事 野部 武典

## [佐野ロータリークラブ]

私達、佐野ロータリークラブは、第9グループ佐野市にあり、栃木ロータリークラブをスポンサークラブとし1959年8月10日に設立され、同年9月22日にRIより加盟認証を受けました。昨年度は65周年式典を開催し、本年6月8日には3000回例会を迎える予定であります。今までに3名のガバナーを輩出しております。また本年度は初めて女性会員を迎えることができました。

本年度は青山ガバナー補佐を輩出し、2月には第9グループのIMを開催させて頂きました。詳しい内容はガバナー月信3月号に掲載されておりますので、是非ご覧になってみて下さい。

さて、佐野クラブでは40数年に渡り「秋の自然に親しむ会」を実施し、市内の特別支援学級に通う児童・生徒と、りんご狩り、動物園、紙すきなど様々な体験を通して一緒に楽しんでまいりました。途中からは、第9グループの共同事業となり、大型バス数台を使う規模となりました。しかし残念な事に、コロナ禍等の理由により、中止となってしまいました。その後、その子供達の図画・工作・書道などの作品展の作品集の製作・配布や参加賞の贈呈、レクリエーション大会の備品の贈呈等に形を変えて続けられております。

また、佐野市の歴史を学び伝える為に、田中正造、唐沢山城などの地元の歴史研究家の方々に支援助し、その資料をまとめ、市内の学校や図書館等に寄贈しております。

また、さくらインターアクトクラブを支援し、足尾植樹と一緒に参加したり、第9グループのポリオデーにも共に参加しております。

また、グローバル補助金を使い、タイ王国の「母子の為のエマージェンシー施設」の豪雨災害による上下水道設備の破損に対し、その復旧の支援に協力させて頂きました。その他引退する消防自動車を佐野市から譲り受け、タイに送る事業も行いました。

さらに、以前、先輩達が唐沢山に設置した「四つのテスト」の看板が古びて目立たなくなってしまう為、参拝者の方々にもロータリーの理念を理解頂く為に、本年度、設置場所を唐沢山神社の社務所前に移し、新たに製作・設置させて頂きました。

その他、1年交換学生や米山奨学生等も多数お世話させて頂いております。このように、歴史があるだけでなく、沢山の事業を実施し、継続している事は素晴らしい事だと思います。今後も変えるべきところは変え、その上で伝統を受け継いでいきたいと思っております。

佐野ロータリークラブ  
2025-26年度会長 後藤 俊一  
幹事 山田 実



足尾植樹



「四つのテスト」の看板を製作・設置



ポリオデー

トップページへ  
戻ります



Sequence  
03 インターシティミーティング報告

## 第1グループ報告

第1グループガバナー補佐  
渡辺 渉 (西那須野RC)

第1グループIMは令和8年2月7日、那須塩原市内の西那須野RC例会場でもあります「いとう家」にて多くの会員参加のもと開催されました。

定刻14:00に開会・点鐘を行い、祝辞はRI2550地区パストガバナー森本敬三様及びガバナーエレクト高橋智純様に頂き、各クラブ会長に上半期報告を頂きました。

パストガバナー森本敬三様より、毎年欠かすことのないポリオ根絶キャンペーンの実施、地域団体との永きにわたる交流及び支援、インターアクトクラブ及びローターアクトクラブでの青少年育成に力を注いでいること等これらの活動は、まさにロータリー行動計画に掲げられている「地域社会にインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる」ことを実施されているものであるとお褒めの言葉を頂きました。

その後、講演会 演題「どうしてニセコは世界的リゾートになったのか？」



講師は、西那須野RCの仲間であります北海道・倶知安RC会員の吉田聡様より貴重なお話を頂きました。

山の東側と西側の地域によってハイクラスゾーンと地元ゾーンに分かれており、同じ環境の中でも地域差があるものの、昔では到底考えられない時価の高騰・活性化・グローバルな地域へと大変身。冬のニセコだけではなく、一年を通してマンション・別荘地は満杯状態との事。地域の若者達ロータリアンを含め、仕掛けと努力が実ったのでしょう。

懇親会に移り地元大田原市内に住んで活動をしておられる「森のハーブ弾き」阿久津瞳様さんのハーブ演奏を心地よく聴かれたロータリアンから大歓迎を受け、IM終了後、阿久津瞳さんも最後まで懇親会に参加をしておりました。

次回のIMには是非、福祉大学のローターアクトをお呼びし、更なる地域の活性化と若い方々との交流が盛んになればと、期待するところであります。



## 第2グループ IM報告

第2グループガバナー補佐  
小野 好史 (氏家RC)

国際ロータリー第2550地区第2グループインターシティミーティングは、氏家ロータリークラブをホストに令和8年3月28日(土曜日)さくら市ホテル清水荘にて「平和を世界に広げよう」をテーマに開催しました。

当日は、烏山ロータリークラブ、馬頭・小川ロータリークラブ、高根沢ロータリークラブ、氏家ロータリークラブの4クラブの会員、米山記念奨学生1人の参加で総勢50名また、来賓として中村卓資さくら市長、小菅哲男県議会議員をお迎えして15:00時点鐘で開始しました。

各クラブ会長より社会貢献活動報告で、継続事業などの特に自慢となるようなお話を聞かせて頂きました。各クラブ5分間の持ち時間だったのですが、早く終わってしまったので次年度の各クラブ会長エレクトの1年間の抱負を発表して頂きました。

第2部の記念講演では、フードバンクさくら代表、栃木県フードバンク連絡協議会会長など兼任されている君嶋福芳様を講師に「フードバンク活動の取り組み」(共生社会の実現に向けて)を演題に約1時間講演して頂きました。日本におけるフードロスの実態、貧困の実態など今日本で起こっている現実を詳しく説明して頂きました。今回、日本における貧困についてフードバンク活動の取り組みを通じて会員の皆様に知って頂き、誰もが尊厳を持って安心して暮らせる日常生活を送れるように、ロータリーの目的でもある「平和を推進する」について今一度考えてもらえればと思いました。また、チャリティー募金箱を用意して会場の皆様にお願ひしたところ48,309円の募金を頂き、フードバンクさくら様に全額寄附致しました。

第3部では懇親会が開催され、さくら市出身で演劇やミュージカルの音楽監督として活躍されている「ヴェニスの商人」(演出:森新太郎、主演:草薨剛)、本年は「タイムトラベラーズ・ワイフ」岩本照(Snow Man)主演のミュージカルなど舞台作品に参加予定の落合崇史様の電子ピアノの生演奏を2曲聴いた後乾杯し演奏と歓談の時間になりました。

各クラブの枠を超えて和気あいあいとした雰囲気の中で会員同士の親睦もさぞかし深まったことと思われます。楽しい時間もあっという間に過ぎて、参加者全員で「手に手をつないで」を輪になって歌いインターシティミーティングが終了しました。

第2グループの会員の皆様のご協力に感謝し、ますますのご発展を心より御祈念し報告と致します。


[トップページへ  
戻ります](#)


## 第4グループIM報告

第4グループガバナー補佐  
篠崎 宏司(下野上三川RC)

- ◆ 令和8年2月22日(日)会場は真岡市のフォーシーズン静風にて開催されました。

真岡RC 48名・益子RC 34名・真岡西RC 38名・下野上三川RC 22名・小山東RC 8名の150名ほどの参加者でした。

- ◆ IM本会議開催直前、ロータリー入会歴5年未満の方々を対象に、鈴木 宏(宇都宮北RC)パストガバナーを講師に迎えオリエンテーションが行われました。40名ほどの会員が有り聞き入り感銘を受けました。今後のロータリー活動の参考となったのではないのでしょうか。

- ◆ IM本会議では、第4グループ4クラブ会長より今年度のクラブ活動報告が行われました。

- ◆ 第2部の基調講演では、佐々木成三氏(元埼玉県警察本部刑事部捜査第一課警部補、一般社団法人スクールポリス理事)を講師に迎え、「最新防犯マニュアル」の演題で講演が有りました。“犯罪を取り締まる側から犯罪を生まない環境作りを目指して”主に特殊詐欺対策、窃盗や空き巣対策、自宅店舗等の防犯セキュリティ対策、トクリュウ対策(匿名・流動型犯罪グループ)等、幅広く防犯対策について話をして頂き、大変有意義な基調講演となりました。

佐々木成三先生はテレビ出演も多く、興味のある一般の方々が多数参加され好評を得た事を申し添えておきます。

- ◆ 引き続き第3部の懇親会では、先ほどの佐々木成三先生も最後まで参加され会員との交流を深められておりました。最後は、全員で「手に手つないで」を唱和し、会場全体が高揚感に包まれお開きとなりました。一日お疲れ様でした。



## 第5グループ IM報告

第5グループガバナー補佐  
加藤 政弘（小山中央RC）

2025-26年度 国際ロータリー第2550地区 第5グループのインターシティミーティングが、2026年2月15日（日）16時から小山グランドホテルにて、ホストクラブである小山中央ロータリークラブの設営にて開催されました。

ステージ上や、会場にほどこされた花々の香りの中、第5グループ5クラブの会員の交流をより深めるため、受付時に参加者の方々にはテーブルナンバーの記されたカードを引いて頂きランダムな席次にて、ウエルカムドリンクの珈琲を味わいながらの、緩やかな開始となりました。

加藤政弘ガバナー補佐の点鐘、慶野保夫IM実行委員長の開会宣言、全員による国歌並びに奉仕の理想の斉唱の後、ホストクラブ 森 容子会長から、歓迎の挨拶がありました。

ガバナー補佐挨拶では加藤補佐から、IMを通じて第5グループ各クラブ、各会員が一つにまとまり交流を通して多に地域貢献を進めたい旨の力強い言葉を頂きました。

続いての第5グループ共同事業では、小山市内において子どもたちの為に活躍されている三つの団体に対し目録贈呈を行いました。こちらは、小山中央ロータリークラブ30周年記念チャリティーゴルフ大会での第5グループの寄付金を中心にまとめ、贈呈したものです。

NPO法人笑光 理事長 中山麗美様、NPO法人子どもの育ちを支える会さくらネット小山理事長 高橋弘美様、NPO法人ビリーブ 理事長 白河一英様、各団体の代表にもご参加頂き、加藤補佐から直接目録を手渡す事ができ共同事業の意義をより深める事ができました。

その後、次年度のIM開催クラブである小山ロータリークラブから次年度黒澤昭夫ガバナー補佐、高橋 剛クラブ会長から次年度に向けての決意表明の挨拶を頂き、第1部の式典が無事終了致しました。

引き続き、会場の暗転、躍動的なBGMと共に「トワイライト・セッション～花とジャズとフランス料理の夕べ」をテーマとした第2部がにぎやかに開始されます。

最初の催しは、各クラブ参加者全員による「フラワー・セッション」です。森 容子会長、松本淳子幹事による進行のもと参加者が5つのテーブルに分かれ、用意されていた花々を各々が協力しながら花器に挿して、活け花作品を制作するイベントです。皆さん、なれない手つきではありましたが、和気あいあいと作品をつくり、最後は中央の展示台に5つの作品を持ち寄りまとめて展示をする事で、第5グループ フラワーモニュメントが完成しました。その後、モニュメントの前に参加者が集まり、全員の集合写真を撮影しました。

その後、用意されたシャンパンを楽しみながらゆっくりとジャズがスタートします。

加藤補佐の親友 塚田氏によるサプライズの曲披露等、会場が多いに盛り上がる中で、ホストクラブ初代会長の阿久津会員の発声で改めてグラスを上げ乾杯を致しました。

ジャズを聴きフランス料理を楽しみながらゆっくりと進むパーティーの中で、会員同士の交流は楽しく予定されていた時間は、あっという間に過ぎてしまい、最後はロータリークラブらしく会員が手をとりあい「手と手つないで」を合唱しIMの幕は閉じました。

加藤補佐の挨拶にもあったように、第5グループの多くの会員が共にロータリー活動を楽しみ、今後の結束を強くした素晴らしいインターシティミーティングを開催できたと思います。

当日、参加しご協力頂きました全ての会員に感謝致します。



トップページへ  
戻ります



Sequence

04

## フレッシュロータリアン・オリエンテーション

2026年5月10日(日) ベルヴィ宇都宮

初夏の最高に幸楽日和な日曜日。

在籍五年以内のロータリアンを集めてのオリエンテーションが、ベルヴィ宇都宮で開催されました。クラブ奉仕委員会・橋本委員長から、委員会の皆に与えられた使命は「楽しむ!」ということ。ロータリーを楽しむ、仲間との時間を楽しむ、そしてロータリーを学ぶことを楽しむ!ということ意識して、プログラムを構成しました。

二十二ガバナーのご挨拶をいただき、まずはロータリーを知る情報の共有をしました。ロータリーの歴史について、目的について、4つのテストについて。私たちが準備するにあたって特に面白かった情報は、質問形式でピックアップし、より楽しんでいただけるよう工夫しました。(例えば「ロータリーができた頃の日本の様子は?」「4つのテストが生まれた背景とは?」などなど。少々滑り気味だったことは心残りですが…次回の課題です!)

次に、テーブルごとに地区委員がファシリティエイターとして参加し「ロータリーに入って良かったこと」「いい例会とは」「新たな会員につなげていくには」と、問題を共有しながら自由に話し合いました。ここでも皆が意識したことは「笑いが起きる楽しい時間」でした。仕事では出会わない人達が初めて集まり、ロータリーを通して出会い、楽しみ、同じ問題に取り組んでいく。その楽しさを体感してもらうことが、二十二ガバナーと橋本委員長の大きなテーマだったように思います。こちらは大成功を収め、少々騒がしいほどの空間で、活発な議論が進み、発表の時間は興味深い意見やアイデアに溢れました。

想像以上にあつという間だったこの会の最後は、ファシリティエイターとしても参加していただいた大矢ガバナーノミーの挨拶で閉められました。

初夏の最高に幸楽日和な日曜日。ですが、参加した皆さんは「今日はここに来てよかった!」と、感じながら帰っていかれたのではないかと思います。

地区会員組織委員

山口 雄子(宇都宮陽東RC)



Sequence  
**05** 新入会員 / 物故会員 / お知らせ

【新入会員紹介】



西那須野 RC

(株)足利銀行 西那須野支店  
統括支店長  
**内田 千恵子**  
(うちだ ちえこ) 2026.5.1入会

ロータリーを学び成長し貢献したい。



西那須野 RC

那須信用組合 本店営業部  
部長  
**増田 一樹**  
(ますだ かずき) 2026.5.1入会

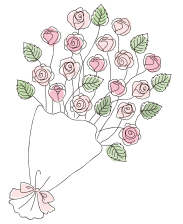
よろしくお願いいたします。



西那須野 RC

大田原信用金庫 西那須野支店  
支店長  
**小森 千晴**  
(こもり ちはる) 2026.5.1入会

会員の皆様、何卒、よろしくお願いいたします。  
小5の女の子がいます。



物故会員

ご冥福をお祈り致します



宇都宮 南 RC

**坂本 昭一** 享年82歳  
さかもと しょういち

生年月日 1944年2月18日生  
物故年月日 2026年5月7日  
入会年月日 2004年7月28日

- ロータリー歴  
2011～2012年度 幹事  
2016～2017年度 副会長  
2017～2018年度 会長
- 寄付歴  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
マルチプル・米山準功労者

地区内・外 主要行事予定

▶ [地区ホームページへ](#)

送金カレンダー

▶ [地区ホームページへ](#)

クラブ定例報告カレンダー

▶ [地区ホームページへ](#)

例会場/事務所一覧

▶ [地区ホームページへ](#)

地区組織図

▶ [地区ホームページへ](#)

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

▶ [「ハイライトよねやま」へ](#)

文庫通信

▶ [ロータリー文庫へ](#)

文庫通信 397号  
ロータリー文庫

文庫通信 397号：国連 (United Nations) とロータリー

「創造の場に立ち会う (ロータリアン誌3月号より)」ロータリアン総編纂部/友：1995・4月/5P  
「第36回国際大会事務録 抜粋「リチャード・ウェルズ会長報告より：国連会議」(R)非公式AI参考訳」  
リチャード・ウェルズ/1945/RL/4P  
「FROM HERE ON! : (国連憲章の象徴をロータリアン向けに解説した冊子) (R)非公式AI参考訳」1945/RL/126P  
「ロータリーと国連連合」亀井昭伍/友：1996・3月/2P  
「UN (国連連合)を如何に愛するべきか」朝藤  
カリスPカラム・ワンウィタヤン殿下・ウオレンRオースチン・レスターBピアソン/友：1995・3月/2P  
「国連の新しい方向を探る ～テゲヤル前国連事務総長とのインタビュー～ (ロータリアン誌3月号より)」  
ホルヘ・ペライド/友：1995・5月/RL/2P  
「Voices for PEACE 平和を求めよ (THE ROTARIAN 2003年2月号より)」  
アンソニー・グレン/友：2003・2月/RL/6P  
「国連事務総長がロータリーに感謝 (付：国際大会事務録のご挨拶原文(R)非公式AI参考訳)」  
湯澤文/友：2009・8月/convention proceeding/RL/7P  
「国連でのロータリーデー」RLWEB サイト

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。  
参考訳はR)非公式であり、私的翻訳またはAI翻訳のため正確ではないこともございます。あくまで参考とし「公式英文書」に理解の  
一期としてご利用ください。  
〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森ビル別館6階

Sequence

06

## コーディネーターニュース



Rotary  
Region 1, 2 & 3



コーディネーター  
NEWS

2026年6月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3  
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC  
行動計画推進リーダー  
国際大会推進チーム

## “回転ドア”は止められているか

## 第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 大高 司郎（高萩 RC）

会員を迎えても、やがて送り出してしまう。  
その繰り返しとなっていないでしょうか。

会員増強に取り組んでいるにもかかわらず、クラブの手応えが変わらないとすれば、その要因は「増えていない」ことではなく、「定着していない」ことにあるのかもしれませんが。本年度より第1地域ロータリー会員増強コーディネーター補佐(ARMC)として活動し、間もなく一年を迎えますが、各地区・各クラブの取り組みに触れる中で、その傾向を強く実感しています。会員維持の観点から見ると、退会は12月末、3月末、6月末に集中する傾向があり、特に6月末に顕著です。この時期を経て、会員数が伸び悩むクラブも少なくありません。いわゆる「回転ドア」の状態にあると言えます。



会員が増えないのではなく、定着していないのではないかと。  
この視点に立つと、取り組むべき課題はより明確になります。

退会の背景には、時間的・経済的負担や期待とのギャップが挙げられます。しかし、その現れ方はクラブごとに異なります。したがって、「なぜ自クラブにおいて退会が生じているのか」を具体的に捉えることが重要です。さらに、在籍年数の長い会員の退会も見受けられます。長年クラブを支えてこられた方が離れるという事実は、クラブの在り方そのものを問いかけています。加えて、クラブそのものがRIから脱会する事例も増加傾向にあり、この問題はクラブ単位にとどまらず、組織全体の持続性にも関わる課題となっています。

この一年、「会員増強・維持」「衛星クラブ設立」「クラブ優秀賞へのチャレンジ」に関する関心は確実に高まっています。それにもかかわらず「回転ドア」が止まらないとすれば、問題は別のところにある可能性があります。

クラブは、会員を増やすことで強くなるのではなく、会員が残ることで強くなる。  
この前提に立てば、まず取り組むべきことは明らかです。  
自クラブにおける退会の傾向と背景を的確に把握すること。  
その要因に真摯に向き合い、具体的な改善を積み重ねていくこと。

たとえば、入会後のフォローの在り方、例会への参加のしやすさ、会員相互の関係性、さらには経験豊かな会員がどのように関わり続けられているかなど、日常の運営を改めて見直すことが有効です。こうした取り組みの積み重ねこそが、「回転ドア」を止める確かな道筋となります。

一人ひとりが「このクラブにいて良かった」と感じ続けられるか。  
その問いに、今こそ真摯に向き合うときではないでしょうか。



# コーディネーター NEWS

2026年6月号 No.2

発行：Region 1, 2 & 3  
RMC, RPTC, RRFCC, E/MGA, EPNC  
行動計画推進リーダー  
国際大会推進チーム

## 信頼をつなぐ公共イメージ

### 第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 細淵 雅邦（浦和 RC）

私たちロータリーの活動は、長年にわたり各クラブの皆さまが積み重ねてこられた奉仕と信頼の上に成り立っています。地域に根ざした誠実な取り組みの一つひとつが、今日の確かな評価と公共イメージを形づくってきました。ロータリー公共イメージコーディネーターチームの活動も、まさにその歩みの延長線上にあるものだと感じています。



近年は、情報発信の手段が広がり、各クラブの素晴らしい活動がより多くの方々に届くようになりました。

こうした発信は、ロータリーの認知を高めると同時に、本来の大きな課題である会員増強にもつながっていく重要な要素です。活動の魅力や価値が適切に伝わることで、新たな仲間との出会いが生まれ、ロータリーの輪が自然と広がっていく、その一端を公共イメージが担っていると感じています。その一方で、情報の広がりが大きくなった。

時代だからこそ、発信や対応のあり方に対する意識も、これまで以上に大切になってきています。ここで私が大切にしたいと考えているのが「危機管理」の視点です。

これは何か問題があるから取り組むものではなく、これまで築かれてきた信頼を守り、安心して活動を続けていくための基盤となるものです。適切な備えや意識の共有があることで、日々の活動はより安定し、外部からの信頼もさらに深まっています。公共イメージの取り組みと、こうした危機管理の意識は、いわば両輪の関係にあるのではないのでしょうか。活動の魅力をしっかりと伝えていくこと、そしてその活動を安心して継続できる環境を整えること。この二つがそろうことで、ロータリーの価値はより確かなものとなり、結果として持続的な発展へとつながっていくものと感じています。

私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、オンラインミーティングを通じて、地区を越えた情報共有や意見交換を行っています。ここで共有される内容には、各地の実践に基づいた具体的な事例が多く含まれており、日々の活動に無理なく取り入れられるものばかりです。ブランドの適切な扱い方やメディア対応の基本、そして落ち着いた対応の大切さなど、こうした学びの積み重ねが、各クラブの活動をより安心で力強いものにしていくと感じています。

これまで築かれてきた信頼という土台の上に、公共イメージの取り組みと適切な備えを重ねていくこと。

その積み重ねが、ロータリーの魅力をさらに高め、新たなつながりを生み、より良い未来へとつながっていくものと確信しています。

トップページへ  
戻ります





## コーディネーター NEWS

2026年6月号 No.3

発行：Region 1, 2 & 3  
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC  
行動計画推進リーダー  
国際大会推進チーム

“人が役を創り、役が人を創る“

### 第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 伊藤 靖祐（江南 RC）

ロータリー財団地域コーディネーター（以下 RRFC）は地区やクラブのロータリー財団活動をサポートする役割を担っています。また、地区ガバナー、ガバナーエレクトを対象とした数々の Learning Seminar を担当し、補助金の活用支援、寄付の推進やリソースの開発をしていきます。第1～3地域の RRFC は大変仲が良く連携が取れており、日本の目標を設定しています。会員一人当たり年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル、また年次基金への寄付ゼロのクラブをゼロとする目標を立て、第2地域では能登半島地震時を除き、その目標はすべて達成しており、第2地域の全てのロータリー会員の皆様に感謝です。第2610地区の全てのクラブにおかれましては震災後の2025-26年度には年次基金の目標も達成されており、尊い寄付活動に敬意を表するばかりです。RI から第2地域の年次基金寄付ゼロクラブゼロは高く評価されています。



今後の財団活動に関する戦略として、RRFCはロータリー財団地域セミナー、クラブ活性化セミナーで提案させていただいております通り、①DDFの有効活用 ②恒久基金の戦略的運用を掲げています。①については、5年を超えて未使用であるDDFは、ロータリー財団のWorld Fundへ自動的に組み入れられてしまいますので、各地区での戦略を立てて有効活用する必要があります。②については、恒久基金-シェアへの寄付は、計画的に積み立てていけばその運用益は毎年地区に分配されるので大きな運用財産となります。ロータリー財団(TRF)における恒久基金の運用利回りは年率7%を超えていますので、恒久基金を各地区のMather Fundと捉えやはり地区の戦略が求められます。

最後になりましたが、本年6月末を以って第2地域RRFCの3年の任期を全うすることができます。ロータリー財団地域セミナー、ロータリー研究会、クラブ活性化セミナー、ガバナーエレクト・ラーニングセミナー等で皆様と出会い、多くの経験をさせていただき、私もラーニングさせていただきました。すべての方との出会いと機会に感謝です。「人が役を創り、役が人を創る」という言葉があります。組織における責任と個人の成長の本質を突いた深い洞察だと思います。組織の中で人は役を創るわけですが、その役に新しい価値や独自のスタイルを取り込むことで役の主体性や革新性を織り込んでいきます。そして創られた役に就くことでその人は否応なしに変容を迫られ、結果として視座の変化と人の器が押し広げられていきます。たとえ最初は役という形を演じることから始まったとしても、その責務を果たそうと日々研鑽を積むうちに、いつしかその振る舞いが本質に変わっていきます。ロータリーはまさに「人が役を創り、役が人を創る」組織です。出会った全ての人に感謝し、この言葉で締めくくらせていただきます。ありがとうございました。

Sequence

## 07 2026年4月会員数報告

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2025年7月1日	2026年1月1日	2026年4月30日
	会員数	女性会員数	会員数
足利	24	2	24
足利東	40	4	39
足利わたらせ	27	0	31
足利西	12	0	12
馬頭小川	15	0	17
今市	40	0	41
今市きぬ	24	0	24
岩舟	8	0	8
鹿沼	56	1	60
鹿沼東	43	7	45
烏山	13	2	13
黒磯	32	3	34
葛生	38	0	39
益子	29	3	28
壬生	15	1	14
真岡	45	1	48
真岡西	39	5	40
日光	17	4	17
西那須野	43	2	41
大田原	18	2	19
大田原中央	16	1	17
小山	21	1	21
小山中央	24	2	24
小山東	22	0	20
小山北	26	0	25
小山南	16	2	16
佐野	46	1	51
佐野東	21	1	19
下野上三川	24	3	24
高根沢	10	1	9
田沼	44	0	43
栃木	43	6	45
栃木南	35	9	38
栃木西	28	1	29
氏家	27	3	31
宇都宮	95	4	91
宇都宮90	39	5	37
宇都宮東	96	0	95
宇都宮北	43	0	43
宇都宮さつき	22	5	21
宇都宮南	56	7	56
宇都宮西	65	0	67
宇都宮陽北	63	6	63
宇都宮陽南	18	5	19
宇都宮陽東	48	10	47
45RC	1526	110	1545
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	14		24
蔵の街とちぎ	5		5
作新学院大学	4		13
宇都宮東	5		9
文星芸術大学			13
国際医療福祉大学			11
7RAC	32		79

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6～7日程かかる場合があります。

トップページへ  
戻ります 

## 謝 辞

ガバナー月信編集委員会 委員長  
中村 弘 (宇都宮北RC)



拝啓 初夏の候、ロータリアンの皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
このたびは、1年間にわたりガバナー月信の編集を担当する機会をいただき、誠にありがとうございました。

振り返りますと、月ごとにさまざまな情報を整理し、第2550地区のクラブ会員の皆様にガバナー月信をお届けする作業は、責任の重さを感じると同時に、大変貴重な学びの場となりました。皆様からのご協力とご助言に支えられ、無事に1年間の重責を果たすことができましたこと、心より感謝申し上げます。

本年度は、従来までのガバナー公式訪問に関する記事を変更し、各クラブの紹介文を掲載させていただきました。クラブの特徴や奉仕活動の内容等をより具体的に地区内の会員へ紹介させていただくことができたのではないかと自負しております。編集作業を通して、クラブの活動の多様性や会員の皆様の熱意を感じることができ、私たち編集委員会にとっても大きな学びとなりました。また、文章やレイアウトの工夫を重ねる中で、情報をより分かりやすく伝えることの重要性を改めて実感することができました。また、昨年からはガバナー月信が電子ブックで閲覧できるようになったことでPDFに比べて一層読みやすく、親しみやすいものとなったのではないかと感じております。

最後に、編集に際し多大なご尽力をいただきましたガバナー事務所のお二人とガバナー補佐の皆様、そして投稿にご協力いただきました各クラブ会長・幹事の皆様に心より御礼申し上げます。

第2550地区の今後益々のご発展と各クラブの皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。末筆ではございますが御礼の言葉とさせていただきます。

敬具

[トップページへ  
戻ります](#)